

直線飛行

目的地に

「正確に」「最短で」到達するための
必須の基本テクニック

パラグライダーは滑空機です。
飛んでいられる時間は限られていますので、
「いかに早く目的地に到達出来るか」ということが
とても大切な技術といえます。

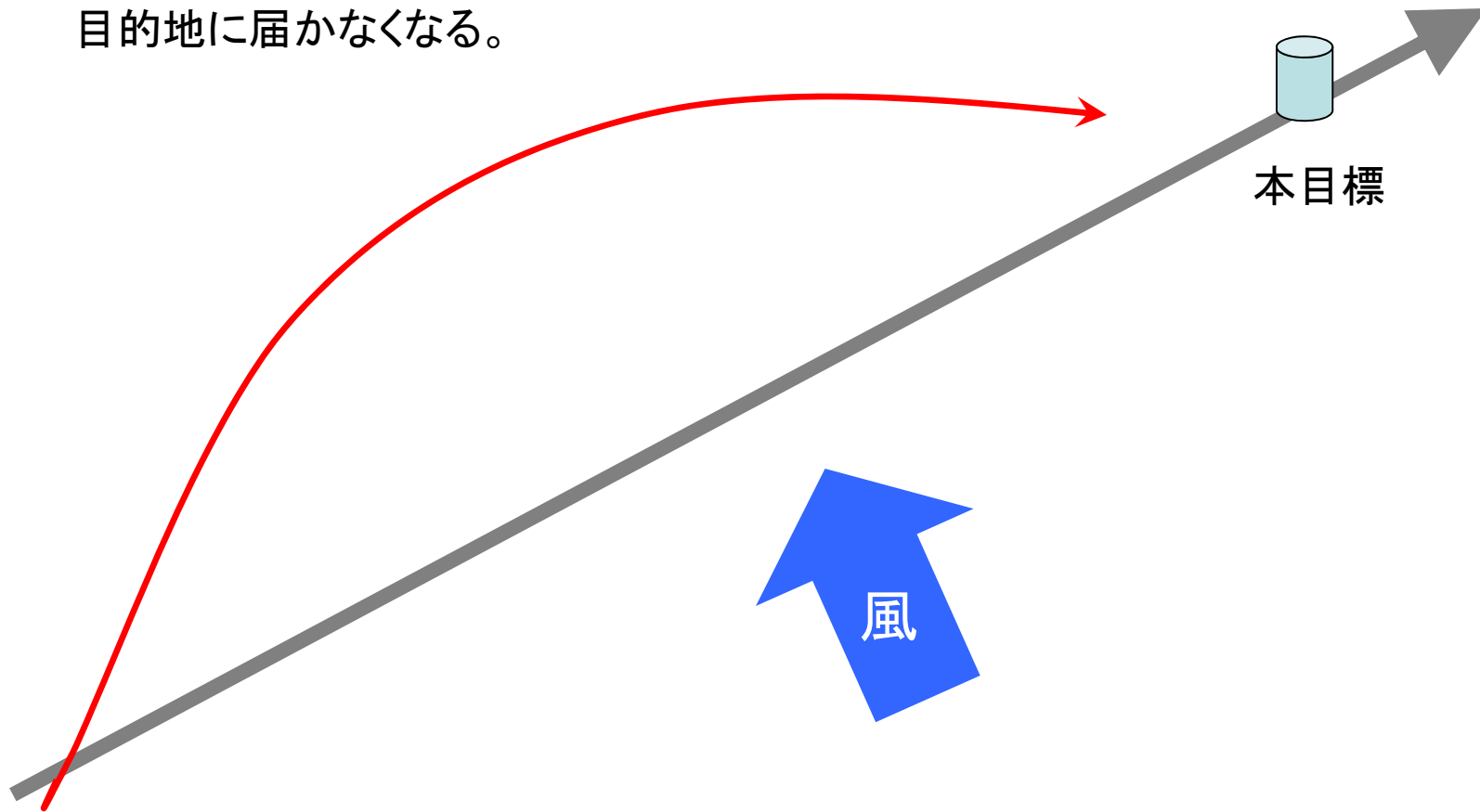
2つの目標をとっていますか？

- 正確な直線飛行を保つためには2つの目標を結んだ線上を目視し、その線上からずれないように、ブレークコードで微調整しながらフライトをします。

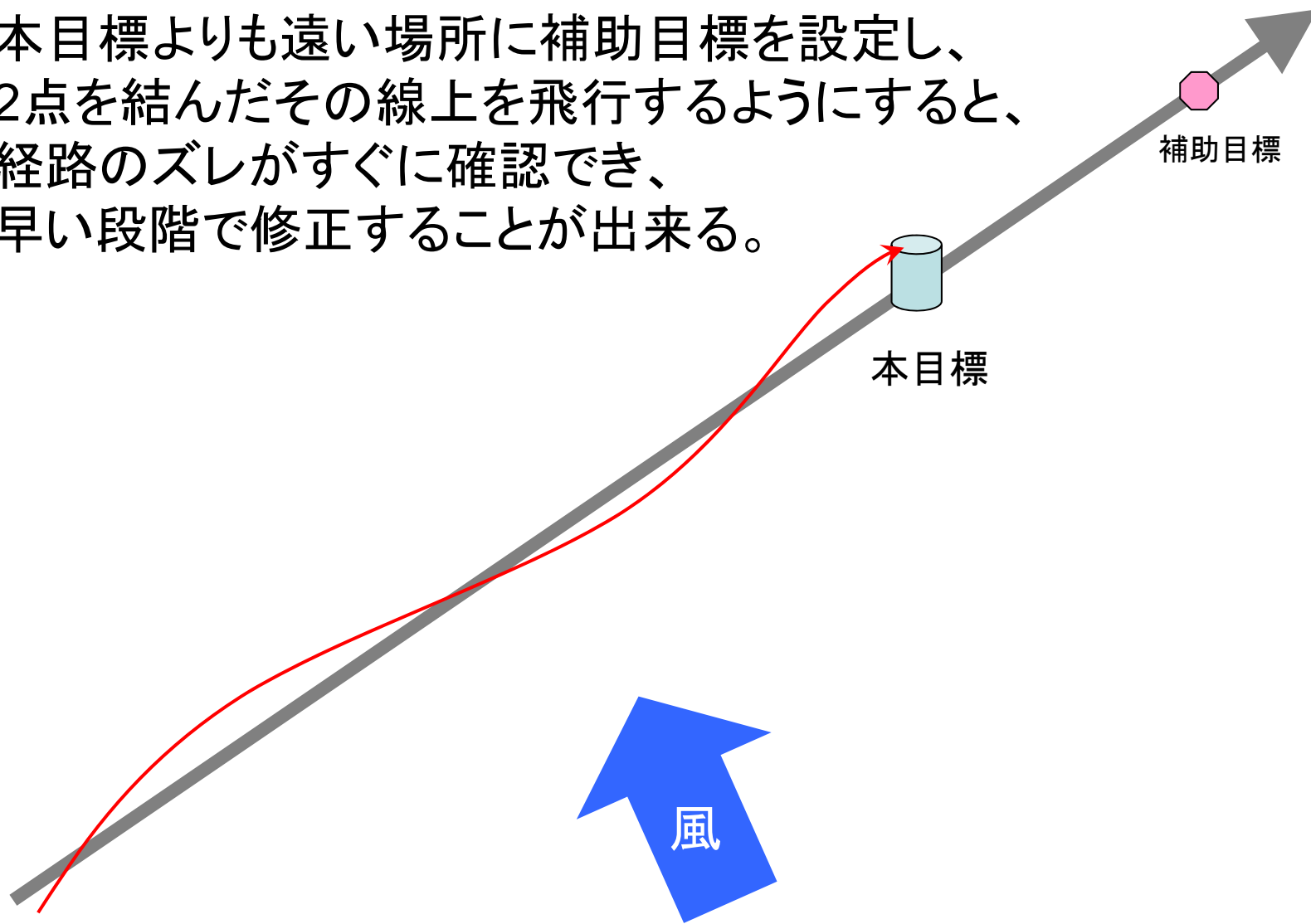


目標が1点だけだったら...

風に流されると、長い距離を飛ばなければ
目的地に届かなくなる。



本目標よりも遠い場所に補助目標を設定し、
2点を結んだその線上を飛行するようにすると、
経路のズレがすぐに確認でき、
早い段階で修正することが出来る。



グライドパス

- 目標地点に到達出来るかどうかを体感的に知る方法



到達点を見る

1. 目線の中央に、目標地点を置く。
2. 飛びながらその地点が上になるか、下になるか…
3. (上)になっていくようならそこまで届かない。
4. (下)になっていくようなら、十分に届く。
5. 常に真ん中にあるれば、ちょうどぴったり。

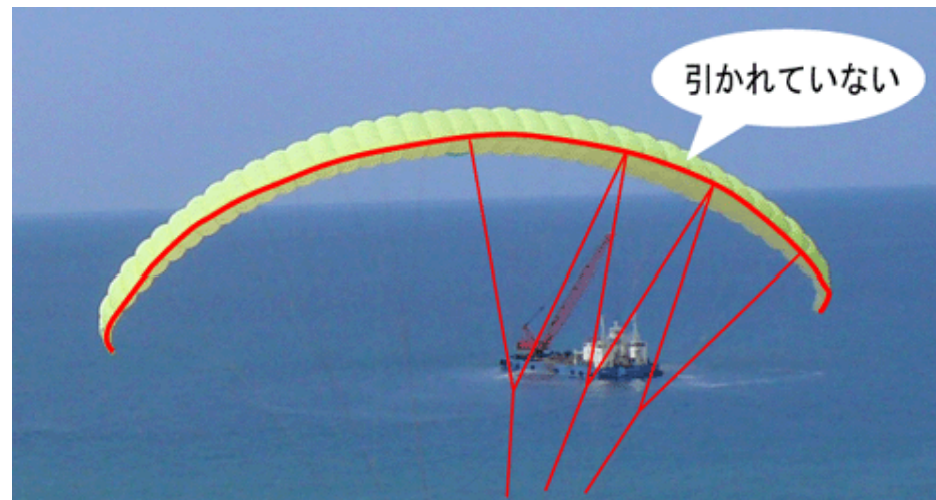
ブレーク操作

直線飛行するための必須の操作

- スピードをコントロール
- ピッチをコントロール
- 風向きを考えた偏流修正飛行

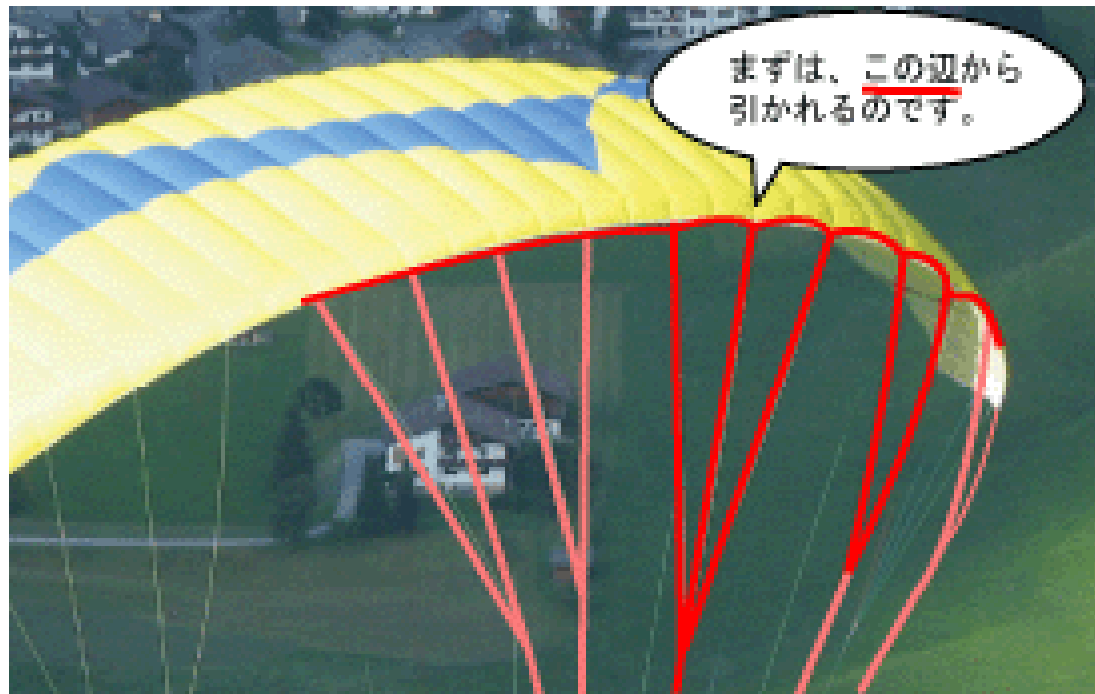
1. フルグライド

- 0%ポジション
- 手はバンザイの位置
- キャンピーにテンションをかけていない状態
- トレーディングエッジは下に引かれていない
- 最良滑空速度

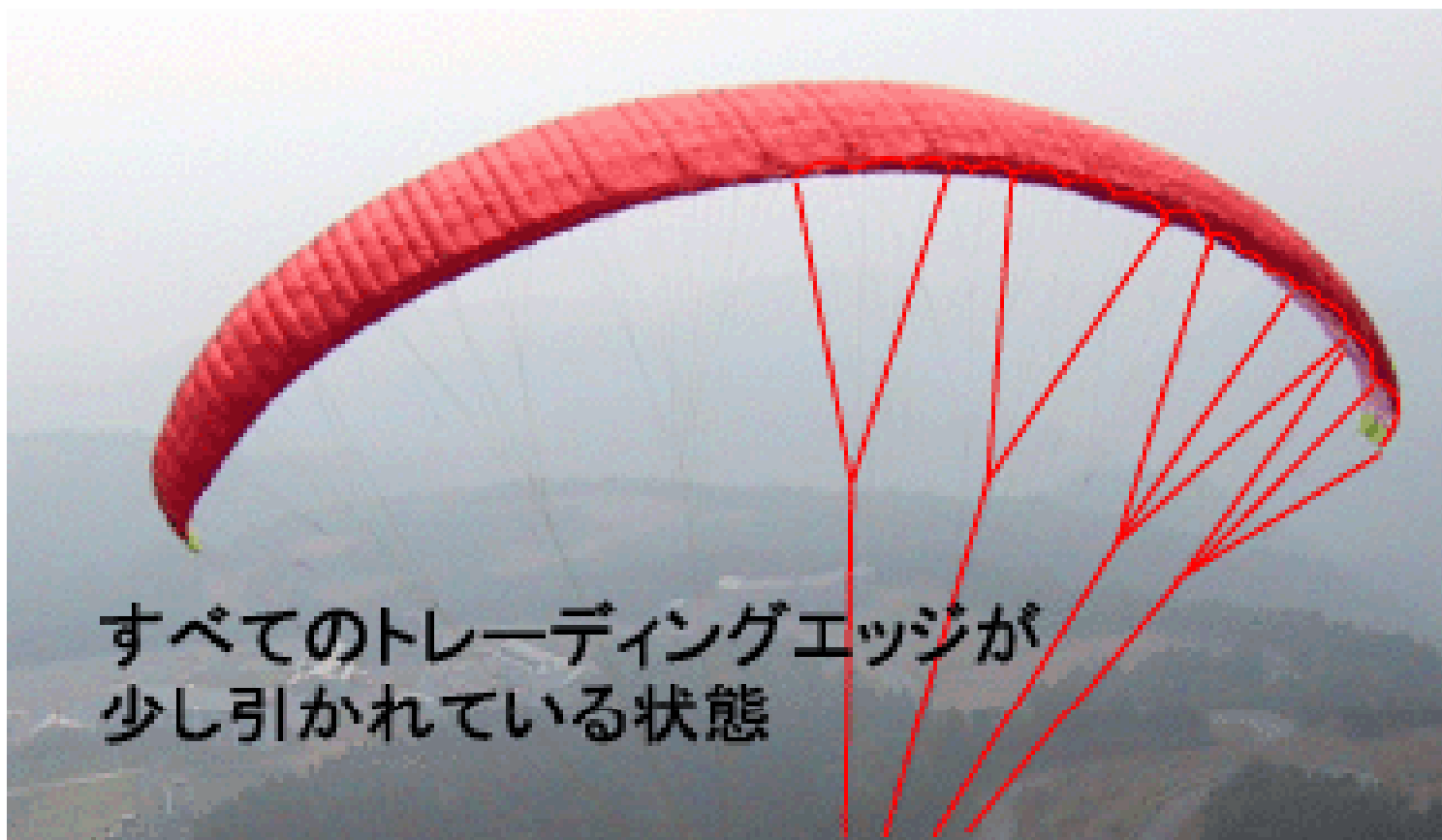


コンタクトポイント

- ニュートラルポジション
- キャンピアーのテンションが軽く感じられる位置



トータルコンタクトポイント

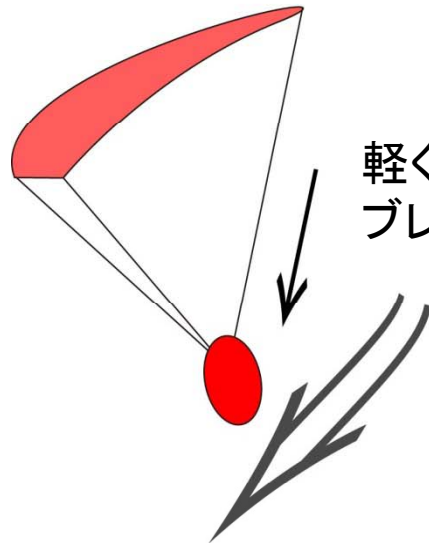


アクティブコントロールポジション

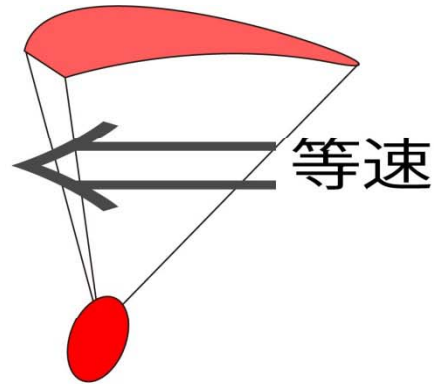
- トータルコンタクトポイントよりも、少し引き込んだ状態
- 重さ1.5Kg~2Kg
- 気流の変化のあるときは、常にこの重さを維持できるように操作する。
- 積極的に重さを感じるように意識しましょう。

ピッチコントロール (アクティブ操作)

ピッチダウン

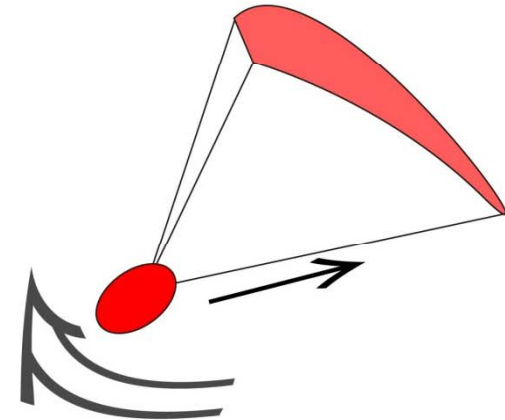


軽く感じる。
ブレークを引く



等速

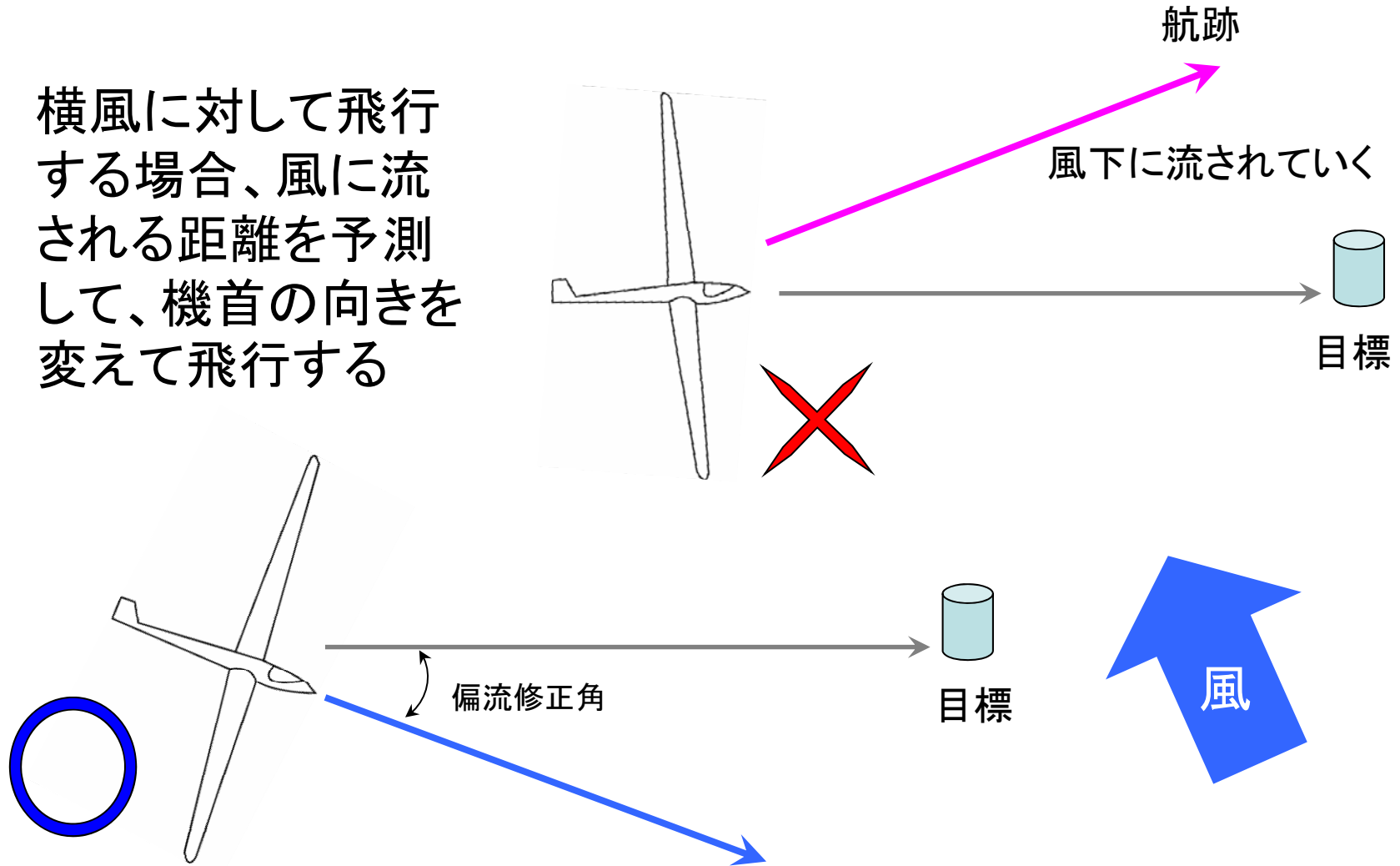
ピッチアップ



重く感じる。ブレークを上げる

偏流飛行

- 横風に対して飛行する場合、風に流される距離を予測して、機首の向きを変えて飛行する



パラグライダーは、なかなか真っ直ぐには飛ばないものです。目標を地平線のどこかに取り、その方向にフライトしているかどうかを常に確認しておくように心がけましょう。

アクセレーターの使用

- 速度調整を行なうことで効率よくグライディングすることが可能です。
- 必要であればアクセレーターを使用する場合があります。

進行(滑空)方向に
対してまっすぐに
踏み込む。

